

協定留学近況報告書

記 入 日	2018年 11月 2日
留 学 先 大 学	中東工科 大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): , (現地言語での名称): <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input checked="" type="checkbox"/> その他: 歴史学部 <small>に所属しているが、全学部の授業履修可能</small>
留 学 期 間	2018年9月ー2019年6月
明 治 大 学 での 所 属	文学部 史学地理学科 アジア史専攻 / ____研究科____専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

まず以前に明治大学より中東工科大学へ留学された先輩の報告書をよく読み、またトルコ人の友人(イスタンブールのボアジチ大生)から大学のレベルや雰囲気について聞きました。トルコ語は文法書(『トルコ語文法読本』)を購入して自分で勉強しつつ、アジア史専攻で教鞭をお取りになっている江川ひかり先生にも何度か授業して頂きました。ただ、中東工科大学では英語で授業が行われ、どの学生も非常に流暢な英語を話します。外国から来ている留学生でトルコ語を話せる人もあまりいないので、トルコ語よりも英語が出来の方がはるかにアドバンテージになります。大学内のスーパーや寮では英語が通じないため不便に感じることもありますが、近くにいるトルコ人学生に頼めば通訳してくれます。また大学の外へ買い物に行く場合はトルコ語が必要になりますが、簡単な会話本を持っていけば大丈夫です。トルコ語を話そうとすると喜んでくれるトルコ人が多いので、簡単な挨拶だけでも知っておき、使った方がトルコを楽しめると思います。

わたしは英語力が乏しいまま留学したため、はじめは大学の授業も、友人との会話も本当に苦労しました。中東工科大学はトルコで超有名な一流大学なので、在校生・留学生問わずレベルが非常に高いです。授業は理解できる内容のはずなのに、英語力不足のせいでそれが出来ない、教授に自分の意見をはっきり言えないというのは非常に悔しいですし、留学の時間が勿体ないです。一流大学の授業を理解できれば本当に濃い学習になります。なので、英語の勉強をできる限りやっていくことをお勧めします。

わたしは大学 2 年生後半くらいから、日本トルコ学生会議という学生団体に所属しており、その団体の活動で留学直前の 8 月にトルコに 2 週間ほど滞在しました。トルコの風土に慣れることが出来ただけでなく、現地の大学生の雰囲気や現地の経済状況や物価はどうかなど様々な情報を事前に仕入れることが出来ました。そのため日本から持って行った方がいいものと現地で買った方がいいものなどを楽に判断できました。またトルコでの留学を終えた東京外国語大学や大阪大学の先輩方から話を聞くこともできました。何よりよかったことは、トルコ好きの日本人と、トルコ人の友人が出来たことです。彼らとは学生会議の活動後も、よく連絡を取り合いましたし、アンカラに住んでいる友人にはよく会いました。心配してメッセージや電話をくれるなど本当によく気にかけてくれ、留学中の心の支えになりました。

II - 1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類:	申請先:
ビザ取得所要日数: (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:
ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
具体的な申し込み手順を教えてください。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?	
ビザ取得に関して困った点・注意点	
トルコへの世紀の交換留学生であれば、ビザは必要ありませんでした。ビザが必要かどうかは年によって異なるそうなので、大使館に行って確認した方がいいと思います。	

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

現地での資金は、新生銀行のキャッシュカードで引き落とししていました。このカードでは、VISA マークのあるすべての ATM でお金をおろすことが出来ました。大学内のあちこちにたくさんの種類の銀行支店とその ATM があるので、引き落としには困りませんでした。トルコではちょっとした買い物でもクレジットカードが使えます。逆に、大きい額の紙幣(例えば 100 リラ)などは使おうとすると若干嫌がられます。引き落としに手数料もかかるので、クレジットカードで生活するのもいいかと思います。またトルコでは ATM にカードを入れてから出てこなくなるがよく起こります。カードには必ずサインをしておきましょう。吸い込まれた場合にはその ATM の銀行スタッフに返してほしい旨をトルコ語で説明する必要があります。

入寮、学生カード申請、滞在許可書申請などの手続きに、顔写真が大量に必要になります。大学内で撮ってくれる場所もあるのでなんとかなりませんが、入寮の際にも必要なので、日本から最低でも 4~5 枚の証明写真を持っていくとよいと思います。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	ターキッシュエアラインズ			
航空券手配方法	Skyticket のアプリから ※利用した旅行社・旅行サイト, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。			
大学最寄空港名	エセンボーア国際空港	現地到着時刻	お昼の 12 時前くらい	
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	1 時間以内			

空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等

Belco Air という会社のバスが、空港からアンカラの繁華街 Kızılay(クズライ)まで出ている。料金は 15 リラ(留学時 300 円)ほど。Kızılay に到着後は、132 番か 411 番の中東工科大行きのバスに乗った。乗車賃は 1.5 リラくらいだった。ODTU の名前を出せば、近くのおじさんでもバス乗り場を知っている。乗車後は、大学の KKM というバス停で降りると、留学生担当の International Cooperation Office の近くで降りることが出来る。大学内には関係者以外入れないので、バス内でセキュリティチェックがある。「エラスムス」(交換留学生のこと)だと言えば何とかなる。タクシーではぼったくられる可能性が高いことと、適正料金で乗ってもバスよりかなり高いのでやめた。また大学の敷地が大変広いので、タクシーに乗る場合でも大学内のどこで下ろしてもらうかをしっかり伝えなければ、大変なことになる。また、私は乗り継ぎの多い便でアンカラへ向かったため、アンカラの空港でスーツケースを紛失したと言われた(結局 2, 3 時間後に見つかった)。寮の正確な住所がわかっていない場合は、航空会社に寮に紛失された荷物を届けてもらうよう頼めないで、紛失リスクの高い乗り継ぎの多い便はあまりお勧めしない。

大学到着日	9月13日16時頃
-------	-----------

2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 9月 20 日から入居可能だった。それまでは仮の寮に一時的に住んだ。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他(3 人部屋)	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他(トルコ人学生)	
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順	寮のスタッフは英語が話せないので、非常に苦勞する。トルコ語の大量の書類を書き、顔写真を渡し、長い時間待った。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?

寮の連絡が最も遅く、これが一番困った。10 月から授業だというのに 9 月に入っても寮に関する連絡がなかったため、渡航日も決められず、航空券もトランジットが多く値段も高いものになってしまった。寮については、渡航前にメールでいくつかの寮の選択肢を提示され、自分が住みたい寮の希望を出せる。しかし、わたしは希望に書いてすらいなかった寮になったので、あまりあてにならないと思う。

3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9月23日から9月30日まで
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	1 週間まるまる、留学生オリエンテーションがある。丸一日かかる日が多い。交換留学生だけでなく、4 年間在籍する留学生も一緒に説明を受ける。履修や滞在許可書申請の手続き説明や施設の使い方といった基本的な説明から、大学内でのルール、トルコでよく使われるジェスチャーやジェンダーに至るまで、様々なトピックについて説明を受ける。大学所有の湖へ出かけたり、ナイトパーティーがある日もある。ホストスチューデントも一緒に行動することが多い。
留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	10月1日から
IV. その他、渡航してから必要な手続きについて	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？	
留学生はトルコで滞在許可書(イカメット)を申請する必要がある。これには非常に時間と手間がかかるが、中東工科大では留学生全員に host student がついてサポートしてくれる。申請方法はネットからで、留学生オリエンテーションで説明される。料金は 72 リラ(留学時 1500 円くらい)だった。何度申請しても途中でエラーになるというトラブルで、最終的には申請に 1 週間かかった。すべての書類が揃ったら IC0 へ持って行く。	
2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？	
寮の賃料を現地の銀行で振り込む必要がある。寮の受付の人から必要な書類を受け取り、窓口まで行って現金で支払う。寮に入る学生が同時期に銀行に押し掛けるので、長時間待たなければならない。	
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
トルコリラでの奨学金受給のため現地の銀行口座を作る必要があったので、まず繁華街である kızılay まで行って tax number を取得した。番号を取得した後は、パスポートのコピーや健康保険のコピー等の必要資料を持って銀行に行き、口座を開いた。	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
携帯電話は、トルコの電気店(Media Market)で SONY のスマホを購入した。本体代が 1200 リラ(留学時は 24000 円)くらいで、最初の契約時に 70(1400 円)リラほどかかったが、月々 20 リラ(400 円)ほどで 3GB まで使えた。大学の建物内は WiFi が通っているので、トルコ携帯はほとんど使わず、自分の日本から持ってきた iPhone を使っていた。週末、大学外に買い物に出たり、旅行に行く際には WiFi がなくてきつい場面が多いことと、トルコの電話番号をもっていると何かと便利なので、トルコ携帯を買うことをお勧めするが、1000 リラ以下の安いものでも十分だと思う。	

V. 履修科目と授業について

1.履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(7月頃)
オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(10月5日頃)
オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

仮履修登録開始の正確な時間が決められていて、その時間に一斉に登録がスタートする。授業はそれぞれ受講できる生徒数が決まっているため、この一斉登録は熾烈な争いになる。サーバーがダウンして繋がらず、履修できなくなることもある。仮履修登録が済んだら、その週から授業のお試し期間が始まる。その週は授業の難易度などを見て授業を追加したり、削除したりできる。留学生は希望の履修が大体確定したら、自分のAcademic adviserから履修確定のapprovalをもらいに行く。Adviserから許可されなかった授業は、履修できない。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

わたしはトルコの教育機関から奨学金を受給するプログラムだったので、出発前に履修登録を済ませる必要があった。大学の授業リストを見て受けたい授業を決め、それに代わる明治大学の授業を書類に記入し、学部長や国際教育事務室の方のサインをもらった書類や成績表をスキャンしてICUに送った。現地では、他の留学生と同様に履修登録を進めた。変更したい授業があった場合は、変更願を出さなければならない。これを出さなかった場合は、大学での履修が組めなくなる。これにも明治大学の教職員の方々のサインが必要になる。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00		起床	起床	起床	起床		
9:00	起床	授業	授業	授業	授業		
10:00	自習	授業	授業	授業	授業	起床	起床
11:00	自習	授業	授業	授業	授業	自習	自習
12:00	自習	授業	Tandem	授業	授業	自習	自習
13:00			Tandem				
14:00	自習				洗濯	運動	運動
15:00	自習	授業	自習	授業	洗濯	運動	運動
16:00	自習	授業	自習	授業			
17:00	自習	授業	自習	授業		自習	自習
18:00						自習	自習
19:00	自習		自習、クラブ			自習	自習
20:00	自習	自習	自習、クラブ	自習		自習	自習
21:00	自習	自習	自習、	自習		自習	自習
22:00	自習	自習	自習				自習
23:00	自習	自習	自習	自習			自習
24:00	自習	自習	自習	自習			自習

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

中東工科大学は、本当に自然豊かな場所にあります。大学自体が一つの街のようになっており、スーパー、レストラン、病院、電気店、本や、文具店、薬局、ジム、ゲームセンターに至るまでのさまざまな施設が備わっており、大学敷地内でほとんどのことが済ませられます。敷地が広すぎて、授業間の校舎移動にはかなり時間がかかりますが、良い運動になっています。食堂やレストランも値段が安くおいしいです。一食 40～200 円くらいでおなか一杯になります。

授業については、すでに少し述べましたが、非常にレベルが高いです。わたしの取っている歴史の授業は大体1授業150分で、休憩が1.2回挟まれます。はじめは長すぎるのではと思っていましたが、一生懸命受講しているとあっという間に終わってしまいます。ほとんどの学生は真面目で、授業中は非常に積極的に発言、質問をします。授業前までに必ず論文を読んでくるよう課題が出され、その課題と授業の予習と復習に日常のほとんどの時間を割いていました。また2度の Midterm と Final exam があり定期的に理解度を確認されます。

わたしの滞在している学生寮は、大学内で最も家賃の高い寮で、月々2万円くらいでした。各部屋にはシャワーとトイレが付いており、清掃も定期的に入りました。他の寮にはこうしたサービスはないそうで、家賃は高いですがいつでもシャワーを浴びることが出来る、おなか痛くてもすぐトイレに行けるというのは個人的に非常に便利でした。そのほかたいの寮には、共用シャワー室、共用トイレ、共用キッチン、洗濯ルーム、自習室、カフェなどの施設があります。

わたしの学部は大量の読書を求められたので、休日でも部屋で勉強したりすることが多かったのですが、課題が少ないときやテストの後は、友人とデパートに買い物に出かけたり、アンカラにきている別の日本人留学生と会ったりして息抜きしていました。大学内を少し散歩したり、大きな運動場で少し走ったりすると、気分転換になりました。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

わたしがトルコの中東工科大学を選んだのには、明確な目的がありました。「なぜトルコで勉強したいのか」という理由付けは、留学中しんどくなったときによく振り返っていました。留学に来た目的と、留学中に経験したいこと、留学が終わった後の自分のイメージを持つことは、留学を有意義なものにするうえで非常に大切なことだと思います。しかし一方で、その目標に向けて頑張りすぎると、やはり疲れてしまいます。家族、友人から離れ、全く異なる環境で一人で生活を始める、これだけでも十分大変なことだということをたまには思い出して、自分を追い込みすぎない方がいいと思います。

トルコを第1志望にと考えている人には、素晴らしい学びができるということを保証したいと思います。トルコで生活する自分を想像しながら、ぜひ明確な目標を立ててみてください。

トルコを留学先候補の一つにしようかと考えている学生にも、強くお勧めします。トルコは留学先としてメジャーではありませんが、非常に豊かな歴史・文化・自然のある素晴らしい国です。また中東工科大学はトルコで最も有名で賢い大学の一つなので、その国の将来を担ってゆくであろう意識の高い学生たちが多数います。彼らとの学びは、非常に刺激になります。

トルコに単に興味がある、行ってみたいという気持ちがあるだけでも、留学に十分な動機だと私は思います。トルコはあまり日本で知られていませんが、今後国際社会でその存在感を強めていくことは間違いありません。多くの可能性、将来性を秘めた国に留学することで、自分の可能性や視野も大きく広げることが出来ると思います。

希望していた留学先に決まらず、仕方なくトルコに行くことになった学生は、どうか気を落とさず、前向きにトルコ留学を捉えてほしいと思います。希望していた留学先にはない、トルコでしかできない経験は何かを考えてみてください。多くの学生が留学する英語圏やヨーロッパ圏の国とは異なる、トルコという選択肢がほかの多くの学生とどういった違いを生むのか、留学中のわたしもとても楽しみにしているところです。トルコへの留学は、留学がメジャーになってきた現在でも多くの人が経験していないことです。周りとは異なる道に進むことは、自分の強みを見つける、あるいは強みを作る上で非常に有用です。違いを楽しもうという気持ちを持って、トルコ留学を楽しんでほしいと思います。

トルコは、アジアとヨーロッパを繋ぐ地政学的に重要な場所にあります。イスタンブールに行けば、様々な歴史的建造物などから文化の交差点としての歴史を味わえるでしょうし、アンカラでは共和国トルコの歴史とそれを支えるイデオロギーを、アタテュルク廟などから感じる事が出来ると思います。東洋と西洋の架け橋となってきたトルコという国を味わうのに、留学ほど素晴らしい機会はありません。留学する学生は、ぜひトルコを選んだことに自信と期待を持って留学に臨んでください。